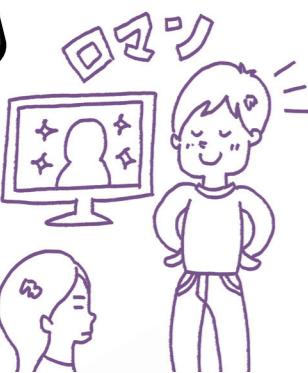




## これって偏見や思い込み？

「男だから」「女だから」といった思い込みにまつわるエピソードを集めました。

仕事



●ドラマで仕事にかける情熱に感動している私に、夫が「こういうのは女には分かんないよなあ～。男のロマンだよなあ」と言われ、大げんか。「女は仕事に情熱かけないとでも！？」（40代・女性）

●夫の実家から、私が仕事をしているにもかかわらず、農業を手伝ってほしいと言われ、断りました。結果的には子どもが生まれるまで、休日にレシートの整理などをする必要があり、苦痛でした。私の仕事のことはお構いなしで、嫁は夫を支えて当たり前という考えに驚きました。どちらも支え合ってこそ夫婦だと思います！（40代・女性）

●1年間の育休を取得する時、昇進をあきらめました。（40代・男性）

家庭



●長男だから我慢すべき、家を継ぐべきだと言われて育ってきましたが、つらい部分もありました。（60代・男性）

●ある日、息子がインフルエンザにかかり、数日間、学校を休むことになりました。一日目は夫が仕事を休み看病にあたり、私が仕事を出ました。とても助かりましたが、翌日以降はやはり私が休まざるを得ない状況です。子どものそばにいたい気持ちは山々ですが、「私も忙しいのに」と思ってしまいます。（40代・女性）

●4歳の息子が「僕は、男の子だからかっこいいのが好き、女の子はかわいいのが好き」と言っていたので、男の子もかわいいのが好きだし、女の子もかっこいいのが好きなんだよと言ってあげました。4歳にして、すでに刷り込まれている…！？（40代・女性）

●男児2人を子育てしていて、よく周りから「うわ一大変そう」と言われます。子育ては性別にかかわらず、だいたい大変なのでは？と思いつながらも、適当に話を合わせています。（30代・女性）

教育



●幼稚園の先生が、ソファに座る園児に「はい、男の子は立って！ 女の子を座らせて！」と声をかけているシーンを見かけました。「座りたい人がいるから、交代ね」でいいんじゃないかなと思ったエピソードです。（40代・女性）

●小学校のPTA副会長が2人いて、对外的なこと（市内のPTAの会議の出席など）をする人は男性、学校内のことをする人は女性でした。（50代・女性）

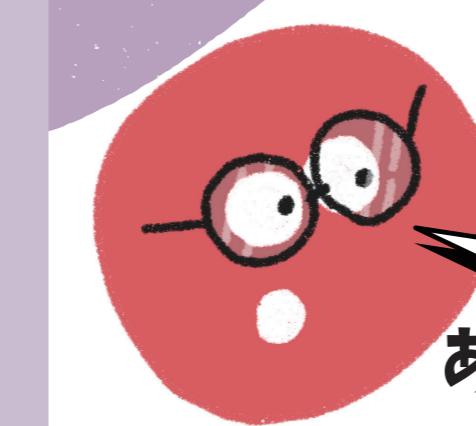
●うちの高校生の子どもは理系ですが、女の子で理系というと、周りから「すごいね」と言われます。まだまだ「理系=男性」という思い込みがあるのでしょうか。（40代・女性）

地域



●ある会合で、ガラスコップが人数分足りなかったので「不足分は、女性が紙コップを使いましょう」という話が進みました。そこに関東から移住してきた20代の女性が「どうして女性が紙コップなのですか？」と指摘し、はっとさせられました。しかも会合の準備をするのは、当たり前に女性ばかりでした。（50代・女性）

●小学校の野球クラブのお茶当番は女性。審判は男性。お茶当番は、弁当注文、練習中にけがした子がいたら、冷やして様子見て…ということで最初から最後まで結構大変です。女性にも審判できる人もいるし、審判できない男性もいるし、お茶当番は性別関係なくできるし…と思いますけどね。（50代・女性）



それとも差別？

## あなたの心の中にある色眼鏡

# 無意識の思い込み

～アンコンシャス・バイアス～

考えてみませんか？

思い込みや偏見に気付き考え方のアップデートを

「男性は仕事をして家計を支えるべき」「家事・育児は女性がするべき」など、性別に基づく役割や思い込みで決めつけられたり、見聞きしたりした経験はありませんか。こうした無意識の思い込みや偏見を「アンコンシャス・バイアス」と言います。育った環境や経験に基づいて無意識のうちに作られた先入観や固定観念は、誰でも持っているものです。しかし、そのまま発言・行動することで、気付かないうちに自分の考えを押し付けたり、誰かを傷つけたりしてしまうケースもあります。国が発表した「性別による無意識の思い込み」に関する調査（令和4年11月内閣府男女共同参画局）では、回答者全体の76.3%が、「性別役割意識」について「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答しています。性別役割の「意識」は男性が高い一方で、直接言われた・言動や態度から感じた「経験」は女性が多いことがうかがえます。また、職場の役割分担に関して、「職場では、女性は男性のサポートに回るべきだ」など、20代男性に「そういう傾向」が多く見られました。

「男性なら、女性なら普通〇〇だよね」「男だから、女だからこうあるべき」。無意識の思い込みによって、気付かぬうちに誰かを傷つけているかもしません。あなたの心の中にある“思い込み”を見直してみませんか。

思い込みがあるのは、ごく自然なこと。しかし、一人でも多くがそのことに気付き、考え方をアップデートしていくことが、一人一人がその意欲と能力に応じて活躍できる「男女共同参画社会」の実現につながります。まずは、身近な“アンコン”を見直してみませんか。

## あなたの“アンコン”度をチェック！

当てはまると思うものにチェックを付けてください。

- 女性には女性らしい感性があるものだ
- 女性の上司には抵抗がある
- 男性は結婚して家庭を持って一人前だ
- 自治会や町内会の重要な役職は男性が担うべきだ

一つでもチェックが付いていたら、それはあなたの思い込みです。  
次のページで事例を紹介します。